

2024年1月27日 御坂黒岳・釈迦ヶ岳

L 辻、SL 福田、三井、有賀(記録)

当初1月20日に計画した山行を天候不良の予報により翌週に繰り延べましたが、目論見通り絶好の好天となりました。自宅を出る時の気温は-8°C、山行出発点のすずらん群生地駐車場でも同様に冷え込んでいました。歩き出しは1時間ほど林道です。しばらくは日陰だけうっすらと雪が残っており凍結路となっていたので乾いたところを選んで歩いていましたが、林道上部は長い北斜面のため全面の凍結路となり慎重に歩を進めました。1時間ほど歩いて林道の終点に到着しました。そこからコンクリートの階段を含めて10分も登れば尾根に出て、その先が大きく視界の開けたツインテラスとなっていました。真正面に富士山が大きく立ちはだかり、左下方に河口湖、更にそのはるか遠方に山中湖が見渡せる絶好のロケーションです。林道の終点まで路線バスが通り、観光客がお手軽に絶景の富士山を拝めるように整備されていました。スマホ用スタンドのあるカメラ台が据えられており、まずは記念撮影。快晴の富士山は雲ひとつ無く、これ以上ない雄姿をゲット。その後尾根伝いに東方向に登り、破風山を越えてすずらん峠に下りました。林道と交差する峠から黒岳目指して再び登って、30分ほどで黒岳山頂に到着。ここまでは右手が南側で常に富士山を眺めながらでしたが、左手の北斜面から始終冷たい北風が吹きあがってきており、顔の左半分だけが凍り付いたようにこわばりました。黒岳山頂に着いたところで大休止。各自持参の食糧でエネルギー補給し、自慢の漬物や干し柿、おかず類がふるまわれて取り回しをして戴きましたが、山で食べればおいしさ倍増、堪能しました。もらうばかりですみませんでしたがごちそうさまでした。

黒岳からは今来た尾根を左に見ながらぐると西に向かって周回するコースです。山頂での日向坂峠側から登ってきた人の情報により、雪が結構残っているという事だったのでここから軽アイゼンを履く事にしました。情報通り北斜面の下りは一面の積雪で、軽アイゼンは初めて使いましたが本アイゼンより歯の丈が短い分歩き易く、大いに活躍しました。日向坂峠まで1時間ほどで下り、そこから今度は府駒山に向かいます。

しばらく進むとすずらん群生地へ下る道との分岐点があり、そこからは日当たりのよい斜面になった為、ここで軽アイゼンを外して府駒山へと向かいました。府駒山を越え釈迦ヶ岳山頂へは小さな頂を何度も上り下りを繰り返し、最後はちょっと険しい岩場があったりしながらようやく山頂に到着。山頂では2体のお地藏さんがお出迎え。定番の富士山をバックにしたお地藏さんを写真に収め、360度の景色を眺めながら2度目の大休止。雲一つなかった午前中と違って、富士山は5合目あたりに横一線に雲がたなびき、一味違った趣でこれまた素敵でした。40分ほど過ごした後來た道を戻ります。往路と同様に何度も小さな頂を超え、すずらん群生地に向かう分岐点から駐車場へ下りました。そこから駐車場へは意外と近く、程なく無事に下山となりました。

富士山を眺める山歩きは天候によって当たりはずれがあり、すぐ近くにいってもガスっていて一度もお目にかかれないこともある中で、今回は好天に恵まれ終始富士山を眺めながらの最高の山行となりました。

【コースタイム】 天候；快晴

AM7：20 すずらん群生地駐車場—8：15 新道峠—8：25 ツインテラス（小休止）8：40—9：05 破風山—9：15 すずらん峠—9：45 黒岳—9：50 展望台（大休止）10：20—11：25 日向坂峠—12：10 府駒山～13：00 釈迦ヶ岳（大休止）13：40～14：10 府駒山～14：40 すずらん群生地駐車場